



# キュウヒツ

vol.21

2023

学校法人九州国際大学  
学園広報誌



拝啓  
10年後の自分へ。

To me in 10 years

[特集]

拝啓 10年後の自分へ。

◎ **キュウヒツ探訪 vol.5**

九州国際大学 現代ビジネス学部

准教授 **栞畑 恭介**

◎ キャンパスレポート

◎ アスリートたちの夏

◎ 人生の扉 第11話 「万年筆」

◎ 学校法人九州国際大学 令和4年度決算報告



# 持啓10年後の自分へ。

その頑張りが、  
実るといいね！

小学生の頃、大切なモノと一緒に、将来の夢や願い事をタイムカプセルに託したことはありませんか？  
未来への思いや想像力を膨らませ、ワクワクしながら書いた人はきっと多いはず。  
そこで、3人の九国生に10年後の自分に宛てた未来予想をしてもらい、  
そのために今、頑張っていることを語ってもらいました

10年後は32歳！



To me in 10 years

ランニングで鍛えた体力に自信あり！  
刑事になって必ずホシを挙げる！

九州国際大学  
法学部法律学科4年生  
下條 ひなさん



夢に、願いに向かって前進中！

3人の九国生の

10年後は23歳！



To me in 10 years

学生時代しかできない経験を重ねて、  
患者さんの心と向き合える医師に！

九州国際大学  
附属中学校2年生  
松尾 俊輝さん

10年後は26歳！



To me in 10 years

やりたいことがたくさんあるけれど、  
自分の可能性を信じて挑戦あるのみ！

九州国際大学  
附属高校2年生  
河野 莉娃さん



拝啓 32歳のワタシへ。

九州国際大学

法学部法律学科4年生

下條ひなさん

念願の刑事になって、  
次々と難事件を  
解決していますか？



人生を、未来を変える。  
本当の自分と出会う大学。

## 九州国際大学



### 2学部3学科10コース

夢を目標に変える一歩がここから始まる。

本学は、法学部と現代ビジネス学部の2学部があり、法学部では社会のルールである法律を学び実践することで地域社会の維持・発展に貢献できる人材の育成をめざしています。現代ビジネス学部では、「グローバル」な視点のもと、地域経済や目まぐるしく変わる国際情勢を理解し、学んだ知識を活用して地域社会の維持・発展に貢献できる人材の育成を図っています。いずれも教育目標を達成するためにコース制を敷いて教育効果を高めています。他大学に比べ、ゼミや地域活動、国際交流など実践的な学びが中心であることも本学の特長です。

ともに学び、高めあうことができる教員や仲間との出会いを通して自分の未来を拓くことができる大学。本学に入学すれば、人生が変わるほどの出会いが待っています。

4年間で必ず  
大きく成長する

九国大  
学びのポイント

#### 1年次から始まる、実践教育の柱 伝統のゼミ活動

地域の人々や行政、企業と連携しながら、アクティブに学ぶ力を身につけます。

#### 使える語学力、国際感覚を養う 留学・海外実習

国際大学にふさわしい多彩なプランをラインアップ。国際社会学科は海外体験が必須です！

#### 入学前、入学後も不安にさせない 入学前&初年次教育

初めての大学生活にスムーズに溶け込めるよう、きめ細やかな支援体制で手厚くサポート！

くわしい情報は  
九州国際大学  
ホームページへ



To me in 10 years

私の夢は警察官になること。小学生の時に自宅が空き巣被害に遭い、捜査で訪れた刑事さんが仕事を進めながらも不安な気持ちで一杯だった私と妹を元気づけてくださいました。やさしくて頼りになって、なんてカッコいいんだろう。私も刑事になりたい！と思ったのがきっかけ。以来、ブレることなく警察官一筋。大学も警察官を多く輩出している九国大を選びました。採用試験対策のためにエクステンションセンターの公務員講座に通い、社会経験を積みたくて学内ジムの受付やコンビニなどでアルバイトにも励みました。

そんな時、元自衛官の祖父から「体力的に難しいのでは？」と言われたことが悔しくて。毎日休むことなく走り込み、筋トレも欠かさず体力アップを図りました。今思えば、小柄な私を心配しての発言だったのでしょ。でも、おかげで体力に自信が付き、先生方からの細やかなサポートを受けながら試験に臨んだ結果、兵庫県警と長崎県警から内定をいただくことができました。

被害者や被疑者が女性の場合、男性刑事だと話しにくいことがあると思います。同性として同じ目線に立ち、本音を聞き出せるような刑事になるのが目標です。10年後は刑事課に配属され、難事件を次々と解決している私を思い描きながら、これからも夢に向かって走り続けます。







拝啓26歳のワタシへ。

九州国際大学付属高校2年生

河野 莉娃さん

ダンサー、医師、それとも女優？  
両親に恩返しはできましたか？

中高生の頃から夢や目標を見定めてがんばる人もいるけれど、私のようにやりたいことがまだ決められない人も、きっといるはず。これから大人の階段を上っていく途中で、いろいろな経験をしながら答えを見つけていけたらいいなと思っています。

10年後はダンサー？医師？女優？それともまだ出会っていない未知の私？どんな世界が広がっているにしても、今まで好きなことをさせてくれた両親が元気で、恩返しができるようになっていくことが一番の願いです。





目標へ、その先の未来へ。  
選ばれるには理由がある。

## 九州国際大学附属高等学校



### 第一志望は「九国」！ 北九州の私立高校のイメージを変える。

本校は、2010年の男女共学化以降、福岡県内で14年連続最多の受験者数を集めています。さらに、滑り止めでなく第一志望の高校として入学する生徒が半数を超え、北九州地域におけるこれまでの私立高校のイメージを塗り替えてきました。このことは「新しい学校を創る」という本校のコンセプトに共感していただいたことの表れだと感じています。今後も、学校という「器」を変えるだけでなく、生徒たちにとって意義のあることであれば、前例にとられることなく「中身」を改革していく。それこそが私たち附属高校の目標なのです。地域最高水準のICT教育の導入もその一例。大学受験のその先の未来にわたり、主体的に学び続け、新時代を切り拓くことができる「骨太の人物」の育成に力を注いでいます。

将来にわたって  
主体的に学ぶ力を育む

附属高校  
学びのポイント

#### 進学や目標に対応した **5クラス編成**

「難関」「S特進」「特進」「進学」「トップアスリート」の5クラス。  
進級時にはクラス替えも可能です。

#### 地域最高水準ICTを活用 **1人1台タブレット端末**

全教室にインタラクティブプロジェクターを設置。  
地域トップレベルのオンライン授業も好評です。

#### 未来を創る国際人を育む **グローバル教育・海外留学**

ネイティブスピーカーによる授業、姉妹校・友好校との国際交流などにより  
英語の4技能をバランスよく養成します。

くわしい情報は  
九州国際大学附属高校  
ホームページへ



To me in 10 years

夢がたくさんありすぎて、とても1つには絞りきれません。まずはエアロビクスの世界チャンピオンになること。幼稚園の年中の頃から続けていて、今年の12月には全国大会への出場が決まり、コーチの指導を受けながら猛練習に励んでいるところです。ドクターにもなりたと思っています。祖父や母が病に倒れた時、とてもショックで、残念ながら祖父は亡くなってしまったけれど、もし私が医者だったら助けられたかもしれないと痛感したからです。でも、先生から今の成績では難しいとアドバイスを受けて一念発起！2年生で1つ上のクラスに進級することができました。

あと、気象予報士や女優の仕事にも興味があります。と言うとなんだかフラフラしているようですが、どれも真剣にやってみたい仕事ばかり！





To me in 10 years

父も母も医者で、小さい頃から患者さんに真摯に向き合う両親の姿を見るうちに、僕も医者になりたいと思うようになりました。大学の医学部をめざすためには勉強をがんばらないといけません。けれど、勉強がすべての人間にはなりたくない。中学、高校、大学の間に大人になっただけできないことをやっておきたい。その点、付属中は行事が多く、いろいろなことを体験できるので、楽しく通うことができます。

入学後の宿泊研修チャレンジ教室では他クラスの生徒とも同じ部屋で過ごすことでお互いの距離がグンと近くなり、すっかり仲よくなることができました。音楽祭では初めての指揮者に挑戦！最初は不安だったものの、みんなの意見を聞きながらまとめることができ、大きな自信につながりました。最近、済生会八幡総合病院の院長先生のお話を聴く機会があり、「AIは医療の分野でも導入が進み、スピードや正確性では人はかなわない。しかし、医者にとって不可欠なのは患者さんに誠実であること。心が大事。」という言葉にとっても共感しました。

10年後は医学生として勉強に励んでいることで

しょう。でも、日本を飛び出して留学してみたい。世界の多様な人たちと交流しながら心を育てる経験は、医者としてはもちろん、人としても宝物になると思っています。



患者さんに誠実な医師をめざし、心を大事に育てていますか？



九州国際大学付属中学校2年  
松尾 俊輝さん

拝啓 23歳のボクへ、



自分の限界を超えていく。

広がる未来は想像以上。

## 九州国際大学付属中学校



めざすのは未見の私の発見。

「K点突破」を合言葉に自分の限界を超える。

K点とは、スキージャンプ競技でこれ以上跳ぶと危険である「極限点」を意味します。しかし、実際の競技会の場合、これを超えないと入賞はむずかしいと言われています。私たちの心の中にもK点があります。しかし、それは思い込みに過ぎず、突破することは可能なのです。本校では生徒たちが何かを始めるときの消極性をK点として、これを突破し「未見の我」を発見できるように指導しています。K点突破を合言葉に、自分の限界を超えていく。生徒のやる気、積極性を引き出すさまざまな教育体制を整えています。また、知・徳・体のバランスのとれた人間性の涵養をめざし、独自の体験学習を実施。勉強だけでなく、友情やたくましさ、思いやりにあふれる、ゆたかな心の育成にも力を注いでいます。

私立ならではの  
先進的教育プログラム

付属中学校  
学びのポイント

独自の教育設計で、より高い進路の実現へ **高校自由選択制**

高校受験は学力形成の好機。

進学に当たっては高校自由選択制をとっています。

先進的教育環境が学力向上をサポート！ **1人1台タブレット端末**

情報のやりとりや調べ学習、レポート作成など

ICTの活用で学習効率をアップ！

基礎から応用へ充実の学習プログラム **PET&ACT**

各学期末に暗記型テスト (PET)、

定期考査で記述形式テスト (ACT) を実施。総合的な学力を養います。

くわしい情報は  
九州国際大学付属中学校  
ホームページへ





# インタビュー 探訪

Interview

VOL  
5

地域づくりは自分づくり。  
身につく力は、あらゆる仕事に  
応用できる力となります。

九州国際大学 現代ビジネス学部  
准教授 栗畑 恭介





## 「情熱」と「冷静」。地域活動に欠かせない2つのマインド。



地域経済学科の地域づくりコースはその名の通り地域に出て学ぶコースです。乗畑ゼミでは実際に地域のイベントに参加したり、自分たちで企画したりしながら地域活動に必要なスキルを身につけていきます。主に八幡東区中央町を中心としたエリアで活動を行っており、私は前任者から受け継いで今年で7年目を迎えます。乗畑ゼミは実習が多いと聞き、その分あまり勉強しなくてすむのでは？と期待して入る学生もなかにはいるようですが、その考えは甘いと思います(笑)。地域活動を成功させるためには段取り力やコミュニケーション力などのスキル、ゼミ生一体となって取り組む「情熱」が欠かせず、やり遂げた時の達成感はとても大きいものがあります。

しかし、それでおしまいではありません。大切なのはそこから先。「冷静」になって再度、活動の意義を考えてみる。すると必ず課題や問題点が見えてきます。何が足りなかったのか？どうすればよかったのか？を掘り下げて解決策を考え、次の活動に活かしていく。その繰り返しこそが地域の課題を解決に導く企画力や実践力を育み、自らを成長させるステップとなります。活動にあたっては「情熱」と「冷静」、相反する2つのマインドを念頭に取り組むことが重要です。

地域づくりコースで地域イベントの企画運営など体験重視、地域密着の実習を展開している「乗畑ゼミ」。地域と連携した活動を通して、学生たちは何を学び、どんな力を身につけ、どのように成長していくのか？乗畑先生にお話をうかがいました。



## 社会にはさまざまな視点、立場、価値観があることを肌で感じる。

地域において学生の力が求められるシーンは多く、熱心な学生が大いに活躍しています。九国大では、地域での学びをゼミに取り入れているので知識や経験のない学生でも地域に入っていくやすいでしょう。

地域連携や地方創成には多大学が取り組んでおり、地域の企業や生産者と連携した新商品の開発やイベントなど個々のプロジェクトで成果をあげています。乗畑ゼミでは一つのプロジェクトやその成否というより一地域で複数のプロジェクトに参加することで、異なる立場の方々と関われるよう心がけています。例えば、八幡中央区商店街のイベントでも、商店街の方々、まちづくり協議会、北九州市PTA、北九州市役所、企業：催しによって関わる主体は多岐にわたります。

現在、月に1回商店街で行っている子ども食堂「ちゅうおうまち食楽福亭(たらふくてい)」では、これまで活動と接点のなかった地域の方々を巻き込み、既に参加している方々との交流を深めることを目的とした企画を進めています。地域のふれあい菜園で野菜を育て、その野菜を使ったカレーに地元八幡ぎょうざをトッピング。子どもたちや地域の人たちに提供するという試みです。当然、何か1つのことを決めるにしても賛否両論がある。ゼミ生たちには活動を通して、社会には実に多様な立場や視点、価値観があることを肌で感じてもらいたいと思っています。

## 多様な人たちと協働しながら、地域と自分の可能性を引き出していく。

多様な人たちと協働しながらプロジェクトを進めるのは容易ではなく、骨の折れる作業です。課題を発見し、それを解決する力はもちろん、相手の話に耳を傾けるコミュニケーション力や自分の意見を発信するプレゼンテーション力なども求められます。けれど、その過程を繰り返すことで身につく力はどのような仕事にも応用でき、社会に出てもきつと役に立つ力となります。最初は自己紹介もままならなかった学生が、ゼミでめきめき成長を遂げ、就活では堂々とプレゼンができるようになっていきます。

また、北九州地域に特別な思い入れのない他県出身の学生にも主体的にゼミに取り組んでもらえるよう、活動に遊びの要素を取り入れるなど自然と関わりたくなるような工夫も行っています。地域の人と活動するうちに、その人の人柄にすっかり惚れ込み、地域に愛着が芽生え、卒業後も北九州の地と関わり続ける学生もいます。地域や人とながら、入学時は思いもよらなかった自分と出会い、見たことのない世界が広がっていく。地域づくりは自分づくりでもあるのです。地元を元気にしたい人、自分の可能性やポテンシャルを引き出したい人は、ぜひ乗畑ゼミへ。地域とともに成長しませんか？

## Profile

宮崎県出身。鳥根大学での学生時代は学生による農村イベントなどに参画、自転車日本一周達成。山村経済研究室に所属し、日本の中山間地域との比較を前提に中国の農村社会や労働力移動について研究。修士時に1年休学して中国・寧夏大学へ留学。鳥根大学大学院連合農学研究科、鳥根大学特別協力研究者を経て2017年に本学現代ビジネス学部に着任、地域づくりコースを担当し、現在に至る。博士(農学)。



## 法学部

### 初年次教育の重要性

#### 法学部教育の基礎はゼミにある

近年、大学における初年次教育の重要性が一層増えています。つまり、1年次にどのように大学生生活を過ごすかによって、大学4年間の過ごし方に大きな影響を与えるとされているのです。そのなかで、法学部の入門セミナーは、論理的思考力などのリテラシー能力だけでなく、社会人基礎力としてのコンピテンシー能力も修得させるなど、初年次教育の重要な役割を担っています。

入門セミナーでは、初年次に養成すべきリテラシー能力に特化した「共通教材」を使用しています。学生は、グループワークでの意見交換や教員・SA(スチューデント・アシスタント)のアドバイスを通じて、主体的にゼミ仲間と協働しながら最終的な成果物(レポートやレジュメ)を完成させていきます。それだけでなく、SA制度を活用して、他の授業やアルバイトの悩みなどの大学生生活全般までを広範囲にフォローしています。このように、さまざまな場面において、学生が主体的かつ協動的に行動できる環境作りが初年次教育に必要です。

4月の授業開始時はお互い固い雰囲気ですが、時間の経過とともに、学生たちが徐々に打ち解けて、課題に協働して取り組む光景は、まさに高校生から大学生への成長のあらわれといえます。



## 現代ビジネス学部

### 韓国からの留学生が ネイティブ・チェックで大活躍！

現代ビジネス学部の男澤智治教授が会長を務める「日本港湾経済学会」の全国大会が、9月7・8の両日、韓国プサン市の釜山港コンベンションセンターで開催されました。この大会の予稿集の作成に当たり、今年度、東亜大学から交換留学で来ているパク・ハニさんとイ・ソジンさんの2人がネイティブ・チェックを担当し、資料作成をサポートしました。学会では、報告をする会員が自分の報告要旨を予稿にまとめ、それが大会資料として編纂されます。今回は韓国での開催なので、各報告者が作成した日本語要旨を、事務局で翻訳ソフトを用い韓国語に翻訳しました。しかし、翻訳ソフトを用いたのみでは学術用語や専門用語の訳が十分ではありません。そこで男澤教授のレクチャーを受けながら、2人で手分けをしてネイティブ・チェックを行いました。ハニさんは「こういう形でお手伝いできたことを光栄に思います」、翻訳しましたソジンさんも「翻訳作業と物流関係の勉強の一石二鳥で楽しかったです」と話しています。



▲ソジンさん(左)とハニさん

### 防災プロジェクトの学生が、 救急の日のイベントをサポート！

9月1日、八幡東消防署が主催する救急の日のイベントが「イオンモール八幡東／ひまわりの広場」で開催され、本学の地域防災リーダー育成プロジェクト(顧問:現代ビジネス学部 村上真理教授)のメンバーが運営をお手伝いしました。このイベントは「9月9日救急の日」にちなんで行われるもので、ここ数年のコロナ禍による中断を経て、久しぶりの実施となりました。参加した学生は、プロジェクトに所属する宇土愛理さん・チャン ニュー サンさんほか4名。八幡東消防署高見救急隊の隊員による心肺蘇生法の指導や119番通報の実際、心肺蘇生法のデモンストレーションについて、急病人の役を実演しながらのサポートが好評でした。宇土さんは「お手伝いすることでより深く理解できました。防災プロジェクトではこの種の機会をもっと増やしていきたいです」、サンくんも「見ているだけでは、分かった気になって終わりです。やはり体を動かしてみることが大事だと感じました」と話しています。



▲心肺蘇生法の講習



▲119番通報の講習



## High School

### 他にはないグローバル教育の実践

付属高校では独自のカリキュラムがあり、毎年さまざまな国に留学する生徒がいます。また留学だけではなく、今年度の夏休みには30名ほどの生徒が3泊4日の韓国姉妹校訪問研修を行っています。海外に実際に行き、多様な文化に触れ、現地の人たちと交流していくことで大きな刺激や新しい発見をし、自分の将来につなげています。今年度末にはオーストラリア研修も予定しています。

留学するのは本校からだけではなく、海外から本校に留学してくる生徒もいます。今年度は、オーストリアとアメリカから2人の留学生が来てくれました。2年生のクラスにそれぞれ所属し、普段の学校生活や授業、体育祭などの行事にも一緒に参加していました。特に同じクラスの生徒は一生懸命英語と日本語、ジェスチャーを交えて会話する姿が見られ、本校の生徒にとっても非常に貴重な経験と学びになっていました。

### 制限のない修学旅行

「3C(「Challenge」「Choice」「Charming」)」をスローガンに従来の行程で修学旅行を実施することができました。4泊5日を通して、規律ある集団行動で自主的な態度を身に付けたり、仲間と事前準備から実践に至るまで協調性や責任感を育んだり、学びの多い時間を過ごすことができました。スキー体験ではインストラクターの手厚いご指導のもと初心者でも安心・安全に取り組み、中には(標高が高い位置から滑るまでに)技術が上達している生徒もいました。東京ディズニーランドや東京観光では生徒にとって初めて九国の制服を着て過ごす機会となるため、社会の一員として公共マナーを守りながら、学校や日常生活では触れることのできない新しい世界を心に刻むことができました。

### 暑さに負けない夏季学習

今年度より、難関・S特進コース夏季学習合宿・学習会を再開しました。6日間親元を離れてさらなる学力の向上を目指し、集中的な学習と規則正しい生活を通して、入試に必要な自己マネジメント能力や困難に立ち向かう強靭な意志を身に付けることを目的としています。質問があれば担当教科の先生方が熱心に指導してくれるため、とても充実した学習時間を過ごすことができました。また各学年の枠を越えて生徒相互の友情を深め、教師との親睦を図ることができ、合宿を終えた後はとても嬉しい表情をしていました。



## Junior High School 「未来を創る人へ」プロジェクト

従来の体験学習と進路学習を融合した学習を展開し、自分で考え、行動する力を育みます。

### 世の中について考え、学び、発表する力

1年

#### 1st stage 発表会

家族と一緒に「今の世の中」について学び、知ったこと・分かったこと・不思議に思ったこと・おかしいと感じたことなどを作文にまとめ、みんなの前で発表します。



### 世の中に触れ、学び、まとめる力

1年

#### 社長さんに聞こう

地域の企業や商店を運営されている社長さんや店長さんをお訪ねし、会社の方針や取り組み、ビジョンなどをお聞きして「今の世の中」の実態を学びまとめます。



2年

#### 2nd stage 発表会

毎日配信されるニュースやいろいろな学習を通して学んだことから「将来の世の中」を想像し、その世の中をどのように生きるか作文にまとめ、みんなの前で発表します。



2年

#### 市役所訪問

北九州市役所を訪ね、現代社会が抱える問題とその解決に向けての取り組みなどをお聞きして、「今の世の中」の実態をくわしく学び、「将来の世の中」のあるべき姿を考えまとめます。



3年

#### Final stage 発表会

世の中について学んだことをもとに、国際社会の一員として、自分は何ができるか・どのようなことに貢献できるかをまとめ、みんなの前で英語を使って発表します。

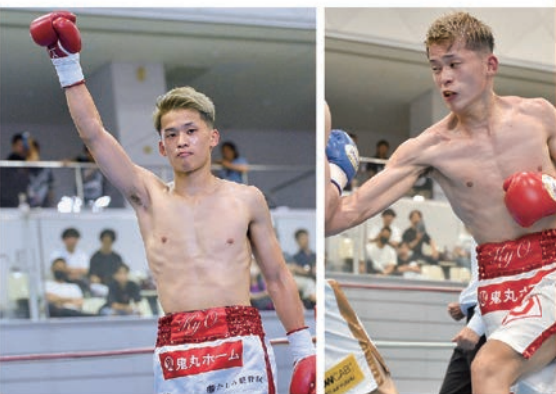




## University

### 大学生とプロボクサーの二刀流！

九州国際大学にプロのアスリートがいることをご存じでしょうか…？現代ビジネス学部2年生の岡本恭佑さんは、高校3年時にライセンスを取得したプロ・ボクサーです。小倉南区のHKスポーツに在籍し、プロになってからも7戦6勝(2TKO)1分と無敗の戦績を誇っています。昨年12月には、ボクシングの聖地後樂園ホールでの「第69回全日本新人王決勝戦」に勝利し、2022年度フェザー級新人王となりました。また、岡本さんの所属する地域経済学科の村上ゼミでは、彼の競技生活を対象に「プロスポーツならではの感動」を研究するチームを立ち上げ、アカデミックな面からも支援しています。引き続き温かなご声援をお願いします。



※写真提供：堀内 拓 氏

### [バドミントン部]

6月に鹿児島市の南栄リース桜島アリーナで開催された第72回九州学生バドミントン選手権大会に出場し、男子団体、女子団体ともに優勝、全国大会出場が決定しました。また、個人戦でも、男子・女子のシングル・ダブルスで優勝を果たし、すべての種目で全国大会のキップを手に入れました。



### [ウエイトリフティング部]

6月30日～7月2日に大阪府羽曳野市のはびきのコロシアムで開催された第62回西日本学生ウエイトリフティング選手権大会に男子選手26名が参加しました。昨年の団体優勝、金沢学院大学から王座を奪還し、団体優勝を果たすことが出来ました。女子選手も同会場で開催された第22回西日本学生女子ウエイトリフティング選手権大会に出場し、準優勝を収めました。男女とも12月に開催される全国大会に出場します。



## High School

### 全国大会・インターハイ

#### [バドミントン部]

2023年度 全国高等学校総合体育大会  
バドミントン競技  
女子学校対抗戦  
ベスト8 東野有咲(2年)・本田希藍(2年)  
宮城那菜(3年)・原口樹璃(2年)  
渡邊亜有未(3年)・栗山陽菜(2年)  
津山心(1年)

#### 女子ダブルス

ベスト16 東野有咲(2年)・本田希藍(2年)  
出場 宮城那菜(3年)・原口樹璃(2年)  
女子シングルス  
出場 栗山陽菜(2年)

#### [ウエイトリフティング部]

2023年度 全国高等学校総合体育大会  
ウエイトリフティング競技  
67kg級  
出場 有田惟一(3年)



#### [体操部]

2023年度 全国高等学校総合体育大会 体操競技  
男子個人総合 出場 秦瑞貴(3年)・荒牧晴(2年)

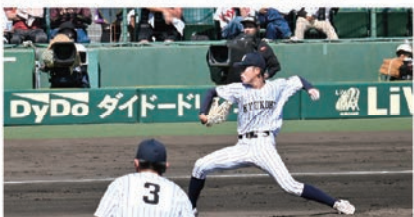
#### [陸上部]

2023年度 全国高等学校総合体育大会 陸上競技  
200m・400m 出場 谷本実優(2年)  
4×100mリレー  
出場 伊藤珠奈(3年)・谷本実優(2年)  
大庭羽純(2年)・仲西萌乃(1年)  
800m 4分51秒09 永沼妃織(2年)  
4分35秒01 岡本彩希(1年)  
1500m 2分18秒95 永沼妃織(2年)  
2分10秒21 岡本彩希(1年) 準決勝進出  
3000m 9分44秒95 朝吹花奈(3年)  
3000mW 26分38秒81 田村優和(3年)



#### [野球部]

第105回 全国高等学校野球選手権大会 福岡県大会  
2回戦 九国大付 8-1 嘉穂総合  
3回戦 九国大付 10-0 門司大翔館  
4回戦 九国大付 11-1 三池工  
5回戦 九国大付 2-1 久留米商  
準決勝 九国大付 4-3 祐誠  
決勝 九国大付 2-1 東筑 優勝  
全国大会  
2回戦 九国大付 0-3 土浦日大



## Junior High School

### バドミントン部 全国大会出場！

私たちは全国制覇を目指して日々の練習に励んでいます。今年度、団体戦は男女ともに市内大会で優勝、県大会では男子準優勝、女子優勝という結果を残し、男女そろって九州大会に駒を進めました。女子は九州大会においても準優勝という結果を収め、全国大会出場を果たしました。また、個人においても男子ダブルス(原口・川上組)、女子ダブルス2組(金生・向江組/住田・前田組)が全国大会への出場権を勝ち取りました。中でも男子ダブルス(原口・川上組)は、全国大会という大舞台でベスト4をかけた戦いに駒を進めることができ、惜しくもフルセットの未敗れはしましたが、全国の強豪校が集う中、ベスト8という結果を残すことができました。全国大会では他校の素晴らしい戦いぶりを目の当たりにし、頂点に立つ厳しさを改めて感じさせられた夏になりました。来年度は今年度の悔しさをばねに更に精神面・体力面を鍛える努力を重ね、悲願の全国制覇を勝ち取ることを目指して頑張っていきたいと思えます。今後も感謝の気持ちを忘れず、日々の練習をがんばります。



### [第44回福岡県中学校バドミントン大会]7月29日・30日 団体

【男子】 準優勝  
原口卓磨(3年)、川上翔大(3年)、牧野隆希(2年)  
崎本大地(2年)、原田幸弥(3年)  
【女子】 優勝  
住田葵(3年)、金生七海(3年)、向江悠伽(3年)、前田美桜(3年)  
坂井美向(3年)、大石咲和(2年)、池田莉琉(2年)、山崎美優(1年)  
シングルス  
大石咲和(2年) 第3位 山崎美優(1年) 第3位  
ダブルス  
【男子】  
原口卓磨(3年)・川上翔大(3年) 優勝  
【女子】  
住田葵(3年)・前田美桜(3年) 優勝  
金生七海(3年)・向江悠伽(3年) 準優勝

### [第52回九州中学校バドミントン大会]8月7日～9日 団体

【女子】 準優勝  
住田葵(3年)、金生七海(3年)、向江悠伽(3年)、前田美桜(3年)  
大石咲和(2年)、池田莉琉(2年)、山崎美優(1年)  
ダブルス  
【男子】  
原口卓磨(3年)・川上翔大(3年) 準優勝  
【女子】  
金生七海(3年)・向江悠伽(3年) 優勝  
住田葵(3年)・前田美桜(3年) 準優勝

### [第53回全国中学校バドミントン大会]8月20日～23日 ダブルス

【男子】原口卓磨(3年)・川上翔大(3年) ベスト8





本や音楽、恩師など、  
人生の転機となった出会いを  
教えていただきました。



## 万年筆

まわりの人たちに恵まれ、  
「役」を全うし続けた半世紀。  
今、新たな「大役」へ。

私は八幡大学（現九州国際大学）を卒業後、  
本学園に入職。以来、約半世紀にわたり学園  
運営に携わり、この度、理事長という予期せ  
ぬ大役を拝命しました。実を言うと生来の私  
はとても内向的な性格で、そんな自分を変え  
たくて学生時代は少林寺拳法のサークルの  
主将や学生自治会での学生大会議長など、あ  
えてリーダー役を自らに課してきました。

入職後は一心不乱に仕事に取り組みました  
が、幾度も壁にぶつかり退職を考えたことも。  
そんな時、支えてくれたのが気の合う同僚の  
集まり「六人会」です。たまには酒を酌み交  
わしながら励まし合い、時には苦言を呈し  
合いながら仕事への英気を養いました。メン  
バーとはその後40年以上も交流が続いてお  
り、「万年筆」は理事長就任の際に彼らが贈っ  
てくれたものです。苦楽をともにした仲間か

らの祝福はなによりもうれしく、ありがたい  
ものです。今も年に数回は旧交を温め、たわ  
いもない話題で盛り上がります。私にとって  
は格好の息抜きの機会であり、幸せな時間  
でもあります。

これまでを振り返ると、今の私があるの  
は、同僚はもちろん上司にも部下にも恵ま  
れ、まわりの人たちの支えがあったからこ  
そ。また私自身もそうであったように、人は  
信頼され、役を与えられることでやる気が生  
まれ、役を果たそうと奮起します。「役は人  
をつくる」ということを尊敬する大先輩に教わ  
り、それはそのまま私の仕事に対するスタン  
スとなりました。これからは多くの職員や  
OBのみなさんに支えられ、助けられ、互いに  
切磋琢磨しながら理事長という大役に全力  
で取り組んでいきたいと考えています。



学校法人九州国際大学 理事長

### 権堂 健司

昭和50年八幡大学（現九州国際大学）を卒業後、  
学校法人八幡大学（現学校法人九州国際大学）入職。  
大学事務部学生課長、付属高等学校事務部長などを  
経て法人事務局長、常務理事を歴任。令和5年2月、  
学校法人九州国際大学理事長に就任。



# 学校法人 九州国際大学 令和4年度 決算状況

学校法人会計は「予算制度」が採用されており、会計年度毎に作成された予算に基づき教育活動等を実施しています。これらの諸活動の結果をあらわす令和4年度の本法人の決算状況について、事業活動収支計算書をもとに説明いたします。

この事業活動収支計算書は、当該年度の収支の均衡状態を明らかにすることを目的としており、経常的な収支である「①教育活動収支」、「②教育活動外収支」及び臨時的収支である「③特別収支」の3つの区分で構成されています。「①教育活動収支」における収入は39億8,318万円、支出は37億7,385万円となり、当該区分における教育活動収支差額は、2億932万円の収入超過となっています。「②教育活動外収支」における収入は387万円、支出は0円となり、当該区分における教育活動外収支差額は、387万円の収入超過となっています。「③特別収支」における収入は4,698万円、支出は197万円となり、当該区分における特別収支差額は4,501万円の収入超過となっています。これらを総じて、事業活動収入は40億3,402万円、事業活動支出は37億7,582万円となっています。

このように区分毎の収支を踏まえた本法人の決算は、基本金組入前当年度収支差額が2億5,820万円の収入超過となり、当年度収支差額も3,247万円の収入超過となっています。なお、本法人が保有する金融資産の増減について、令和5年3月末現在の次年度繰越支払資金等（有価証券5億151万円含む）は36億6,173万円となり、前年度末より1億7,905万円増加しました。「退職給与引当特定資産」は9億4,531万円で、学校法人学会計基準に基づき当期末退職給与引当金計上額の100%を積み立てた金額となっております。「減価償却引当特定資産」は将来の施設設備の更新に備え、1億円を繰入れ17億6,444万円となっています。これらをあわせた金融資産残高は、前年度末と比較して2億9,368万円増加しています。

(注) 単位(万円)未満は四捨五入して表記しています。

## 事業活動収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで) (単位:千円)

科目	予算	決算	差異
<b>① 教育活動収支</b>			
収入			
学生生徒等納付金	2,634,514	2,633,069	1,445
手数料	71,334	71,304	30
寄付金	4,268	6,710	△ 2,442
経常費等補助金	1,057,572	1,054,534	3,038
付随事業収入	52,677	53,336	△ 659
雑収入	162,760	164,226	△ 1,466
教育活動収入計	3,983,125	3,983,179	△ 54
支出			
人件費	2,207,239	2,206,244	995
教育研究経費	1,251,160	1,222,010	29,150
管理経費	367,278	345,600	21,678
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	3,825,677	3,773,854	51,823
教育活動収支差額	157,448	209,324	△ 51,876
<b>② 教育活動外収支</b>			
収入			
受取利息・配当金	3,800	3,865	△ 65
その他の教育活動外収入	0	0	0
教育活動外収入計	3,800	3,865	△ 65
支出			
借入金等利息	0	0	0
その他の教育活動外支出	0	0	0
教育活動外支出計	0	0	0
教育活動外収支差額	3,800	3,865	△ 65
經常収支差額	161,248	213,189	△ 51,941
<b>③ 特別収支</b>			
収入			
資産売却差額	0	0	0
その他の特別収入	40,366	46,976	△ 6,610
特別収入計	40,366	46,976	△ 6,610
支出			
資産処分差額	0	1,967	△ 1,967
その他の特別支出	0	0	0
特別支出計	0	1,967	△ 1,967
特別収支差額	40,366	45,009	△ 4,643
[予備費]	4,994		4,994
基本金組入前当年度収支差額	196,520	258,198	△ 61,578
基本金組入額合計	△ 229,732	△ 225,727	△ 4,005
当年度収支差額	△ 33,112	32,470	△ 65,582
前年度繰越収支差額	△ 5,666,245	△ 5,666,245	0
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	△ 5,699,357	△ 5,633,774	△ 65,582
(参考)			
事業活動収入計	4,027,291	4,034,019	△ 6,728
事業活動支出計	3,830,671	3,775,822	54,849

### 【語句説明】：事業活動収支計算書にのみ表れる主な科目

#### 【事業活動収入】

学生生徒等納付金、手数料、寄付金、補助金等収入のうち、負債とならず自己資金となる収入です。よって、借入金や貸付金回収、預り金（他に支払う為に一時的に金銭を受け入れたもの）や前受金（翌年度の活動における前年度入金分）など自己資金ではないものは表示されません。その一方で、現物寄付など資金の受け入れではないものも事業活動収入となります。

#### 【事業活動支出】

人件費、教育研究経費、管理経費等の支出をいい、学校法人の純資産の減少をもたらす支出のことです。そのため、固定資産取得に係る支出や借入金返済、貸付金支出等は事業活動支出とはなりません。引当金の繰入や減価償却などは事業活動支出にはなりません。

#### 【資産売却差額・資産処分差額】

不動産や有価証券などを売却した際の売却額と帳簿価額の差額をいいます。資産を売却した際、売値が資産の帳簿価格を上回った場合、その額を資産売却差額として計上します。資産を売却した際、売値が資産の帳簿価格を下回った場合、その額を資産処分差額として計上します。

#### 【徴収不能額】

得べき収入が徴収不能になった際、徴収不能引当金を設けていない場合やその額が徴収不能引当金残高を超えている場合に計上します。なお、本来得べき収入のうち、その回収不能額を見積もって引当金を設ける場合には、徴収不能引当金繰入額を計上します。

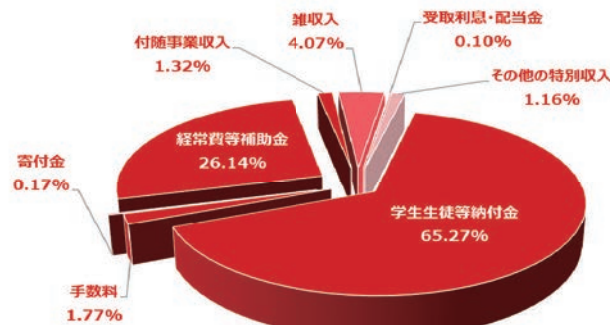
#### 【基本金組入額】

学校法人が教育研究活動を行っていくためには、校地・校舎・機器備品・図書・現預金などの資産を保有し、これを永続的に維持する必要があります。学校会計では、当該年度にこれらの資産の取得に充てた金額を基本金へ組入れる仕組みとなっています。この基本金の対象は、「学校法人会計基準」において、次の4項目に分類されています。

- 【第1号基本金】：設立当初に取得した固定資産、並びに設立後新たな学校の設置、学部学科の増設、定員や実員の拡大による規模の拡大及び教育の充実向上のために取得した固定資産の額。
- 【第2号基本金】：第1号の資産を将来取得するために充てる金銭その他の資産の額。
- 【第3号基本金】：基金として継続的に保持し、かつ運用する金銭その他の資産の額。
- 【第4号基本金】：恒常的に保持すべき資金として別に文部科学大臣の定める額。

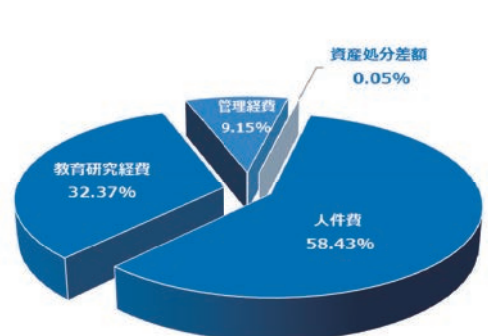
### 事業活動収入に対する各費目の占める割合

#### 事業活動収入計 (4,034百万円)



### 事業活動支出に対する各費目の占める割合

#### 事業活動支出計 (3,776百万円)



(注) 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と一致していない場合や実際の計算書類と一致していない場合があります。



## 資金収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

収入の部	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	2,634,514	2,633,069	1,445
手数料収入	71,334	71,304	30
寄付金収入	17,200	20,259	△ 3,059
補助金収入	1,085,006	1,082,307	2,699
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	52,677	53,336	△ 659
受取利息・配当金収入	3,800	3,865	△ 65
雑収入	162,390	163,824	△ 1,434
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	344,634	372,176	△ 27,542
その他の収入	123,564	524,282	△ 400,718
資金収入調整勘定	△ 472,869	△ 500,789	27,919
前年度繰越支払資金	3,181,169	3,181,169	0
収入の部合計	7,203,418	7,604,802	△ 401,384
支出の部	予算	決算	差異
人件費支出	2,212,149	2,211,154	995
教育研究経費支出	957,003	930,472	26,531
管理経費支出	329,481	308,395	21,086
借入金等利息支出	0	0	0
借入金等返済支出	0	0	0
施設関係支出	183,939	183,927	12
設備関係支出	45,793	40,301	5,492
資産運用支出	311,260	714,630	△ 403,370
その他の支出	40,320	96,405	△ 56,084
[予備費]	8,358	8,358	
資金支出調整勘定	△ 21,582	△ 40,704	19,122
次年度繰越支払資金	3,136,697	3,160,222	△ 23,525
支出の部合計	7,203,418	7,604,802	△ 401,384

## 活動区分資金収支計算書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：千円)

科 目	金額
教育収入	2,633,069
学生生徒等納付金収入	2,633,069
手数料収入	71,304
特別寄付金収入	6,670
経常費等補助金収入	1,054,534
付随事業収入	53,336
雑収入	163,824
教育活動資金収入計	3,982,737
人件費支出	2,211,154
教育研究経費支出	930,472
管理経費支出	308,395
教育活動資金支出計	3,450,022
差引	532,715
調整勘定等	12,326
教育活動資金収支差額	545,042
施設整備等活動による資金収支	金額
施設設備寄付金収入	13,589
施設設備補助金収入	27,773
減価償却引当特定資産取崩収入	200,000
施設整備等活動資金収入計	241,362
施設関係支出	183,927
設備関係支出	40,301
減価償却引当特定資産繰入支出	300,006
施設整備等活動資金支出計	524,234
差引	△ 282,872
調整勘定等	△ 17,146
施設整備等活動資金収支差額	△ 300,018
小計(教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額)	245,024
その他の活動による資金収支	金額
退職給与引当特定資産取崩収入	200,000
修学・研修旅行費預り資産取崩収入	918
小計	200,918
受取利息・配当金収入	3,865
その他の活動資金収入計	204,783
有価証券購入支出	200,000
退職給与引当特定資産繰入支出	214,624
預り金支払支出	54,856
仮払金支払支出	298
仮受金支払支出	32
修学・研修旅行費預り金支払支出	864
小計	470,674
その他の活動資金支出計	470,674
差引	△ 265,892
調整勘定等	△ 79
その他の活動資金収支差額	△ 265,971
支払資金の増減額(小計+その他の活動資金収支差額)	△ 20,947
前年度繰越支払資金	3,181,169
翌年度繰越支払資金	3,160,222

翌年度に入学する学生生徒等から受入れた授業料・入学金等。

貸付金の回収額。特定の目的のために積立した預金(退職・減価償却)等を取り崩した額など。

収入として計上したが、未収となっているものや、前受金収入として前年度までに既に受入れている収入を差引くことにより、資金の収入額を調整するもの。

土地、建物、構築物等を取得するための支出。

機器備品、図書、車両などを取得するための支出。

支出として計上したものの、未払いとなっているものや、前払金支払として前年度までに支払っている経費を差引くことにより、資金の支出額を調整するもの。

### 【語句説明】資金収支計算書にのみ表れる主な科目

#### 【前受金収入】

翌年度の活動に対する収入をいいます(新生生の入学金・授業料等)。

#### 【資金調整勘定(資金収入調整勘定、資金支出調整勘定)】

資金収入調整勘定とは、当年度の諸活動に対する収入で前年度以前に資金の収入になったもの及び当年度の諸活動に対する収入で翌年度以降に資金が受け入れられるものです。  
資金支出調整勘定は、当年度の諸活動に対応する支出で前会計年度以前において支払資金の支出となったもの及び当年度の諸活動に対応する支出で翌会計年度以後において支払資金の支出となるべきものをいいます。

### 【語句説明】資金収支計算書及び事業活動収支計算書に共通して表れる主な科目

#### 【学生生徒等納付金】

在学又は入学の条件として、所定の額を義務的にかつ一律に納付すべきものです。授業料、教育充実費、入学金等の学生・生徒から納入されるもので、収入のうちで最も大きな割合を占めます。

#### 【手数料】

入学試験、転入学試験等のために徴収する収入です。  
具体的には、入学検定料、試験料、証明書発行手数料をいいます。

#### 【経常費等補助金】

国・地方公共団体及びこれに準ずる機関から交付される補助金をいいます。

#### 【受取利息・配当金】

預貯金や有価証券等の利息・配当金収入をいいます。

#### 【付随事業収入】

食堂、売店、寄宿舎等の補助活動収入、外部から委託を受けて行う受託事業収入などをいいます。

#### 【雑収入】

学校法人に帰属する上記の各収入以外の収入をいいます。これには、私学事業団等から退職金資金その他の交付金を受けたときの収入も含まれます。

#### 【人件費】

専任教職員、非常勤講師などに支給する本俸・期末手当・その他の手当・所定福利費、理事及び監事に支払う報酬などをいいます。

#### 【教育研究経費】

教育研究のために支出する経費をいいます。

#### 【管理経費】

総務・人事・経理業務や学生募集のための支出などで、教育研究以外の経費をいいます。

## 学校法人会計について

学校法人はその教育研究活動を行うにあたって必要な施設や設備、経営に必要な財産を持つために、国または地方公共団体等から補助を受けています。これら補助金の交付を受けている学校法人は私立学校振興助成法の定めにより「学校法人会計基準(昭和46年文部省令制定)」という会計ルールに従い計算書類を作成し、公認会計士または監査法人による監査を受けて、所轄庁に届け出ることが義務付けられています。

このように、公共性・安定性・継続性が求められる私立学校においては、中長期的にわたって持続的な経営を維持するために収支均衡を図るべく、適正な会計処理を行うための統一的な学校法人会計基準が定められています。

## 企業会計と学校法人会計の違い

教育・研究活動を事業目的とする学校法人会計は、学校法人の永続的な発展と教育研究活動の円滑な遂行のために、「教育水準の維持向上」、「収支均衡」、「予算主義」という3つの概念に基づき運営され、収支の均衡と財政の状態を正しく捉えることを目的としています。

一方、営利の追求を事業目的としている企業会計の考え方は、損益が重視され、収益と費用を正しく捉え、営業年度の正しい損益を計算し、企業の財政状態を知ることによって、より高い収益を追求することを目的としています。

このように、一般企業は利益を得る目的で存在していますが、学校法人は教育研究活動を目的とした非営利法人です。法人の存在理由が異なるため、会計の目的が異なります。

## 計算書類について

### (1) 資金収支計算書

当該会計年度の諸活動に対応するすべての資金の動きを記録することによって収入と支出の内容を明らかにし、当該年度の支払資金(現金及び預貯金)の期末を表すものです。

### ※活動区分資金収支計算書

資金収支計算書の決算額を「教育活動」、「施設整備等活動」、「その他の活動」の3つの活動区分で表示し、経営判断に資する財務情報を提供するものです。

活動区分資金収支計算書は、予算と決算との差異を表示する制度(様式)ではないため、予算書の作成は求められていません。

### (2) 事業活動収支計算書

当該会計年度の事業活動収支の内容を明確にし、事業活動収支の均衡を表すものです。計算書の構造は、本業である教育・研究活動(教育活動収支)と財務活動で生じる利息等(教育活動外収支)、資産売却等の臨時的収支(特別収支)に区分され、各区分の収支差額から経営状態の健全性を把握することができます。

### (3) 貸借対照表

当該会計年度末における資産・負債・純資産(基本金及び収支差額)の状況を把握し、財政状態の健全性を表すものです。



## 貸借対照表

(令和5年3月31日現在)

(単位: 千円)

	資産の部			負債の部				
	科目	R4	R3	増減	科目	R4	R3	増減
収容・寮・体育館等の建物及び建物付属設備(空調等)の額。	固定資産	16,928,918	16,715,215	213,702	固定負債	945,307	950,587	△ 5,280
教育研究のために使用される機械設備の額。	●有形固定資産	13,679,643	13,780,570	△ 100,928	退職給与引当金	945,307	950,587	△ 5,280
教育研究目的以外の機械設備の額。	●土地	5,270,389	5,270,389	0	流動負債	570,576	610,232	△ 39,657
退職金の支払いのため、将来の支出に備えて留保した資金の額。	●建物	5,568,246	5,618,734	△ 50,488	●短期未払金	40,122	39,668	433
老朽施設の更新や機器備品の買換え及び拡充を目的として留保した資金の額。	●構築物	504,585	505,930	△ 1,345	●前受金	372,176	356,514	15,662
	●教育研究用機器備品	414,169	460,286	△ 46,117	●仮受金	0	32	△ 32
	●管理用機器備品	49,851	46,139	3,712	●預り金	79,844	134,700	△ 54,856
	●図書	1,867,999	1,861,758	6,240	●修学・研修旅行費預り金	78,433	79,297	△ 864
	●車両	4,404	4,434	△ 30	負債の部合計	1,515,882	1,560,819	△ 44,937
	●建設仮勘定	0	12,900	△ 12,900	純資産の部			
	●特定資産	2,709,746	2,595,116	114,630	科目	R4	R3	増減
	●退職給与引当特定資産	945,306	930,682	14,624	●基本金	24,431,107	24,205,380	225,727
	●減価償却引当特定資産	1,764,440	1,664,434	100,006	●第1号基本金	24,160,107	23,934,380	225,727
	●その他の固定資産	539,529	339,529	200,000	●第4号基本金	271,000	271,000	0
	●電話加入権	3,203	3,203	0	繰越収支差額	△ 5,633,774	△ 5,666,245	32,470
	●有価証券	501,512	301,512	200,000	翌年度繰越収支差額	△ 5,633,774	△ 5,666,245	32,470
	●預託金	34,815	34,815	0	純資産の部合計	18,797,333	18,539,135	258,198
	流動資産	3,384,297	3,384,739	△ 441	負債及び純資産の部合計	20,313,215	20,099,954	213,261
	●現金預金	3,160,222	3,181,169	△ 20,947				
	●未収入金	144,274	123,331	20,943				
	●貯蔵品	407	309	98				
	●修学・研修旅行費預り資産	78,229	79,147	△ 918				
	●前払金	666	582	84				
	●仮払金	498	200	298				
	資産の部合計	20,313,215	20,099,954	213,261				

### 【語句説明】：貸借対照表に表れる主な科目

#### 【○○○引当特定資産】

施設の増設や改築、機器備品その他の設備の拡充や買い替え、退職金の支払いなど、将来の特定の支出に備えるために資金を留保した場合に設ける勘定科目です。このような資金留保は、経営方針に基づく長期的な資金計画によって実行されます。

## 事業活動収支計算書(経年比較)

(単位: 千円)

	科目	H30	R1	R2	R3	R4
		収入	2,584,270	2,743,698	2,838,953	2,772,455
学生生徒等納付金	74,008	76,139	72,325	70,797	71,304	
手数料	6,198	4,392	1,337	15,834	6,710	
寄付金	872,287	915,401	1,052,023	1,060,503	1,054,534	
経常費等補助金	56,164	58,895	53,329	57,993	53,336	
付随事業収入	88,503	306,912	171,819	144,582	164,226	
雑収入	3,681,430	4,105,437	4,189,786	4,122,164	3,983,179	
教育活動収入計	2,073,661	2,277,324	2,201,371	2,196,165	2,206,244	
人件費	1,105,571	1,143,457	1,220,856	1,201,326	1,222,010	
教育研究経費	334,039	338,376	363,409	321,957	345,600	
管理経費	1,431	119	30	0	0	
徴収不能額等	3,514,702	3,759,276	3,785,666	3,719,448	3,773,854	
教育活動支出計	166,728	346,161	404,120	402,716	209,324	
教育活動収支差額	4,381	4,909	4,807	4,201	3,865	
受取利息・配当金	0	0	0	0	0	
その他の教育活動外収入	4,381	4,909	4,807	4,201	3,865	
教育活動外収入計	4,933	1,000	236	0	0	
借入金等利息	0	0	0	0	0	
その他の教育活動外支出	4,933	1,000	236	0	0	
教育活動外支出計	△ 552	3,909	4,571	4,201	3,865	
教育活動外収支差額	166,176	350,072	408,691	406,917	213,189	
経常収支差額	0	0	0	0	0	
資産売却差額	46,171	24,789	17,846	62,186	46,976	
その他の特別収入	46,171	24,789	17,846	62,186	46,976	
特別収入計	4,479	47,340	2,308	2,202	1,967	
資産処分差額	634	645	0	13,775	0	
その他の特別支出	5,113	47,985	2,308	15,977	1,967	
特別支出計	41,058	△ 23,196	15,538	46,209	45,009	
特別収支差額	207,234	326,874	424,229	453,126	258,198	
基本金組入前当年度収支差額	△ 726,566	0	△ 277,103	△ 225,124	△ 225,727	
基本金組入額合計	△ 519,332	326,874	14,7126	228,002	32,470	
当年度収支差額	△ 6,057,132	△ 6,576,464	△ 6,041,373	△ 5,894,247	△ 5,666,245	
前年度繰越収支差額	0	208,215	0	0	0	
基本金取崩額	△ 6,576,464	△ 6,041,375	△ 5,894,247	△ 5,666,245	△ 5,633,774	
翌年度繰越収支差額						

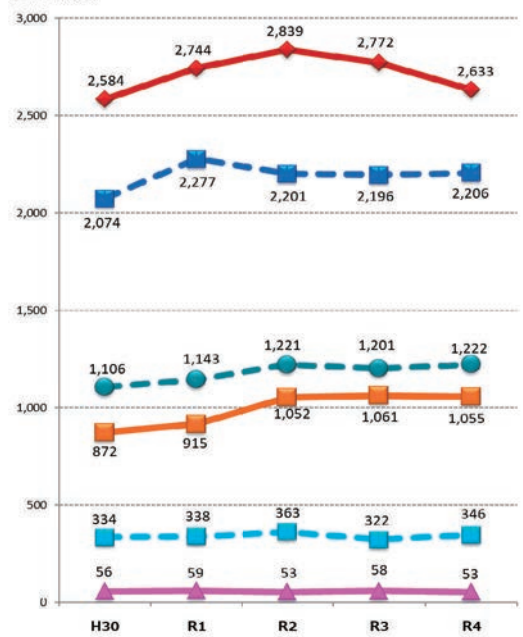
(参考)

事業活動収入計	3,731,982	4,135,135	4,212,439	4,188,551	4,034,019
事業活動支出計	3,524,748	3,808,261	3,788,210	3,735,425	3,775,822

(注) 各項目の数値は、単位未満を四捨五入しているため、合計と一致していない場合や実際の計算書類と一致していない場合があります。

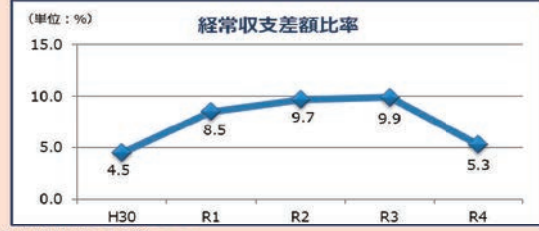
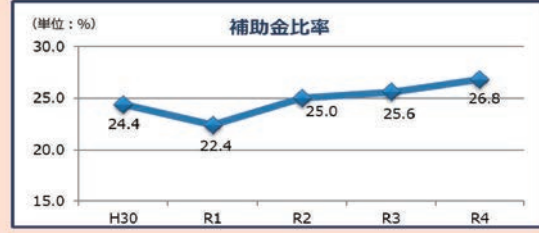
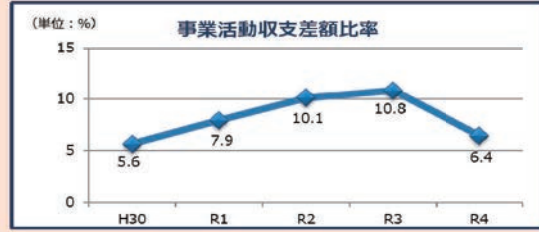
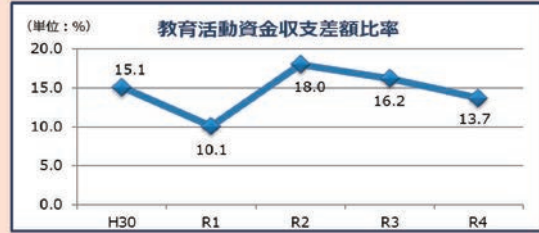
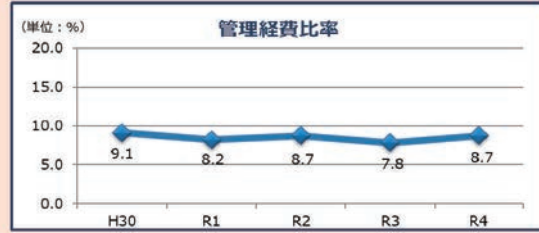
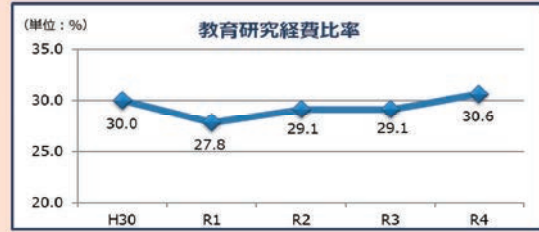
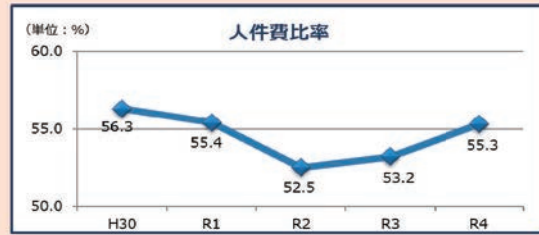
## 事業活動収支の主な科目の推移

(単位: 百万円)



実線(—)は、収入科目、破線(---)は、支出科目です。





(注) 財務比率の評価等について

財務比率の評価は、各学校法人の内部事情等を個別に判断しなければ、一概にその良否をいえませんが、財務比率の高低の評価を以下のとおりとしています。

[△: 高い値が良い ▼: 低い値が良い —: どちらともいえない]

(注) 貸借対照表関係比率に表示される項目の説明

- ① 運用資産 = 特定資産 + 有価証券(固定資産) + 有価証券(流動資産) + 現金預金
- ② 外部負債 = 借入金 + 学校債 + 未払金 + 手形債務
- ③ 要積立額 = 減価償却累計額 + 退職給付引当金 + 第2号基金 + 第3号基金

## 貸借対照表関係財務比率

No.	比率	算式	H30	R1	R2	R3	R4	評価
1	固定資産構成比率	固定資産 / 総資産	87.2%	85.3%	83.7%	83.2%	83.3%	▼
2	有形固定資産構成比率	有形固定資産 / 総資産	73.4%	71.6%	70.3%	68.6%	67.3%	▼
3	特定資産構成比率	特定資産 / 総資産	12.5%	12.4%	12.7%	12.9%	13.3%	△
4	流動資産構成比率	流動資産 / 総資産	12.8%	14.7%	16.3%	16.8%	16.7%	△
5	固定負債構成比率	固定負債 / 総負債 + 純資産	5.2%	4.9%	4.8%	4.7%	4.7%	▼
6	流動負債構成比率	流動負債 / 総負債 + 純資産	4.1%	4.1%	3.4%	3.0%	2.8%	▼
7	内部留保資産比率	運用資産 - 総負債 / 総資産	16.3%	17.6%	20.2%	22.5%	23.9%	△
8	運用資産余裕比率	運用資産 - 外部負債 / 経常支出	136.1%	135.1%	147.0%	162.3%	167.8%	△
9	純資産構成比率	純資産 / 総負債 + 純資産	90.6%	91.1%	91.8%	92.2%	92.5%	△
10	繰越収支差額構成比率	繰越収支差額 / 総負債 + 純資産	△ 34.4%	△ 31.2%	△ 29.9%	△ 28.2%	△ 27.7%	△
11	固定比率	固定資産 / 純資産	96.2%	93.7%	91.1%	90.2%	90.1%	▼
12	固定長期適合率	固定資産 / 純資産 + 固定負債	90.9%	88.9%	86.7%	85.8%	85.7%	▼
13	流動比率	流動資産 / 流動負債	309.8%	360.6%	473.8%	554.7%	593.1%	△
14	総負債比率	総負債 / 総資産	9.4%	8.9%	8.2%	7.8%	7.5%	▼
15	負債比率	負債 / 純資産	10.3%	9.8%	8.9%	8.4%	8.1%	▼
16	前受金保有率	現金預金 / 前受金	490.0%	545.9%	692.6%	892.3%	849.1%	△
17	退職給付引当特定資産保有率	退職給付引当特定資産 / 退職給付引当金	100.0%	100.0%	100.0%	97.9%	100.0%	△
18	基本金比率	基金 / 基本金要入額	99.7%	99.9%	100.0%	100.0%	100.0%	△
19	減価償却比率	減価償却累計額(図書を除く) / 減価償却資産取得価額(図書を除く)	58.3%	58.5%	59.5%	60.5%	61.6%	—
20	積立率	運用資産 / 要積立額	46.1%	48.9%	51.9%	54.7%	55.8%	△

## 事業活動収支計算書関係比率

No.	比率	算式	H30	R1	R2	R3	R4	評価
1	人件費比率	人件費 / 経常収入	56.3%	55.4%	52.5%	53.2%	55.3%	▼
2	人件費依存率	人件費 / 学生生徒等納付金	80.2%	83.0%	77.5%	79.2%	83.8%	▼
3	教育研究経費比率	教育研究経費 / 経常収入	30.0%	27.8%	29.1%	29.1%	30.6%	△
4	管理経費比率	管理経費 / 経常収入	9.1%	8.2%	8.7%	7.8%	8.7%	▼
5	借入金等利息比率	借入金等利息 / 経常収入	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	▼
6	事業活動収支差額比率	基本金組入前当年度収支差額 / 事業活動収入	5.6%	7.9%	10.1%	10.8%	6.4%	△
7	基本金組入後収支比率	事業活動支出 / 事業活動収入 - 基本金組入額	117.3%	92.1%	96.3%	94.2%	99.1%	▼
8	学生生徒等納付金比率	学生生徒等納付金 / 経常収入	70.1%	66.8%	67.7%	67.2%	66.0%	—
9	寄付金比率	寄付金 / 事業活動収入	0.4%	0.5%	0.5%	1.6%	0.6%	△
	経常寄付金比率	教育活動収支の寄付金 / 経常収入	0.2%	0.1%	0.0%	0.4%	0.2%	△
10	補助金比率	補助金 / 事業活動収入	24.4%	22.4%	25.0%	25.6%	26.8%	△
	経常補助金比率	教育活動収支の補助金 / 経常収入	23.7%	22.3%	25.1%	25.7%	26.4%	△
11	基本金組入率	基本金組入額 / 事業活動収入	19.5%	0.0%	6.6%	5.4%	5.6%	△
12	減価償却比率	減価償却額 / 経常支出	7.8%	7.9%	8.1%	8.3%	8.7%	—
13	経常収支差額比率	経常収支差額 / 経常収入	4.5%	8.5%	9.7%	9.9%	5.3%	△
14	教育活動収支差額比率	教育活動収支差額 / 教育活動収入	4.5%	8.4%	9.6%	9.8%	5.3%	△

(注) 「経常収入」 = 教育活動収入計 + 教育活動外収入計 「経常支出」 = 教育活動支出計 + 教育活動外支出計

## 活動区分資金収支計算書関係比率

No.	比率	算式	H30	R1	R2	R3	R4	評価
1	教育活動資金収支差額比率	教育活動資金収支差額 / 教育活動資金収入計	15.1%	10.1%	18.0%	16.2%	13.7%	△

(注) 教育活動資金収支差額 = 教育活動資金収入計 - 教育活動資金支出計 + 教育活動調整勘定等



学園へのご支援をお考えのみなさまへ



九州国際大学は、日本高等教育評価機構が定める大学評価基準に適合しているとの認定を受けています。

## 学校法人 九州国際大学

- 大学 法学部/法律学科 現代ビジネス学部/地域経済学科・国際社会学科
- 大学院 法学研究科
- 付属高等学校 難関クラス/S特進クラス/特進クラス/進学クラス/トップアスリートクラス
- 付属中学校

2030年の創起100周年に向けて

# Habataku みらい募金

学校法人 九州国際大学

地域とつながりながら  
未来へ羽ばたくために

本学園では建学の理念でもある「熟的精神」に基づき、開学以来の使命である北九州地域の発展や活性化に寄与することができる人材育成に力を注いでおります。2030(令和12)年の創起100周年に向けて、学生や生徒たちが地域とつながりながらさらに大きく羽ばたいていくことを願い、新たな寄附金制度「Habatakuみらい募金」を設置いたしました。今後も本学園を支えてくださるみなさまから、より一層信頼され、評価をいただけますよう教職員一丸となって教育改革に邁進してまいります。募金の主旨にご賛同いただき、温かいご支援、ご協力を賜りますよう、慎んでお願い申し上げます。



学校法人 九州国際大学  
理事長 權堂 健司

## Habataku みらい募金

◎募集期間/2028年3月31日まで ◎目標額/1億円

[募金の活用法について]

みなさまからいただいた浄財は、希望されるサポート内容に充当させていただきます。

### 1 教育・研究サポート

特色ある教育及び研究を充実させるための環境整備。

### 2 就職・進学サポート

就職実績、進学実績の質的・量的向上に向けた取り組み。

### 3 地域連携サポート

地域の発展に寄与し、地域社会に貢献できる人材育成。

### 4 国際人育成サポート

国際人に必須の語学力強化、海外協定校との異文化交流など。

### 5 課外活動サポート

友と切磋琢磨する時間を育む  
体育系・文科系部活動の活性化。

### 6 施設・設備拡充サポート

安全で充実した学校生活のための施設・設備の拡充と整備。

### 7 <思いをカタチに。支援したいコトやモノをご指定いただける>

**用途指定募金サポート** 特定のクラブ活動の全国大会出場を応援したい、留学する学生・生徒の支援をしたいなど、用途や目的を指定してご支援いただくオーダーメイド感覚の募金です。

※とくに用途の指定がない場合は教育研究活動に充当させていただきます。

※詳細は、「学校法人九州国際大学ホームページ」をご確認ください。 <https://www.kiu.ac.jp/hq/contribution/>

お問い合わせ先

学校法人 九州国際大学 法人事務局寄附金担当

〒805-8513 北九州市八幡東区平野二丁目5番1号

TEL:(093)671-8900 内線8220 FAX:(093)671-9032

E-mail:kifu@office.kiu.ac.jp



学園広報誌 九国の扉 ~キョウトビ〜  
vol.21 / 2023  
発行日 / 2023年9月30日  
発行 学校法人九州国際大学  
■学園広報委員会  
〒805-8513 北九州市八幡東区平野2-5-1  
TEL:093-671-8900 FAX:093-671-9032